

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営協議会は年2回しか開催されていません。又地域包括支援センターに案内をしていない。	問題が生じた時毎に、開催する事を目標とします。合わせて、地域包括支援センターにも案内を行う。	1. 寝たきり状態、及びエンゲ障害の利用者に対する介護のあり方について。 2. 暴力行為がある利用者の分析と介護の対応について。 当面、以上のような課題について開催を行う。	ヶ月
2	6	身体拘束に関して、施設玄関に鍵をしている。	曜日を決めて、開放する。	職員が法定より多いときに、取り組んでいく。	ヶ月
3	8	権利擁護と虐待の研修が出来ていない。	県、宅老所、グループホーム、グループハウス連絡会などの研修会へ参加していく。	研修参加手当を検討していく。	ヶ月
4	35	火災、災害対策が不十分である。	消防の検査が年2回あり、検査にあわせて行う。	地域の人、プロパン業者などの参加を求めて実行していきたい。	ヶ月
5	49	外出支援が不十分である。	寝たきり、歩行不安定などの利用者が年々増えてまいりましたが、工夫をしながら、年4回を目ざす	家族の参加などを検討し、冬までに最低2回試みる。	ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。